

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 法と現代	生活と法Ⅳ	狩野 俊郎	2年次	春

授業のキーワード	生活に関係する法律や法律に係る手続きなどについて主に住宅ローンを例にして理解する。
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	授業科目「生活と法Ⅰ」および「生活と法Ⅱ」では、所有権や物権法、抵当権、債権総論、契約、消費貸借を学ぶ。「生活と法Ⅲ」では、住宅の新築や土地購入などを例にして、Ⅰ・Ⅱで学んだ法律を具体的に理解・修得する。そして当該「生活と法Ⅳ」では、金融機関の住宅ローンを例にして、具体的に物権法や契約に係る法律を理解・修得する。
履修のアドバイス・前提科目等	授業科目「生活と法Ⅰ」、「生活と法Ⅱ」、「生活と法Ⅲ」を選択することが望ましい。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	講義の進め方とねらい 金融機関の業務	授業のねらい 授業の進め方 住宅ローンの位置づけ	第9講	建築工事の発注	建築工事請負契約書の理解 見積書の見方
第2講	住宅資金	住宅ローン商品の内容（法的構成と具体的商品内容）	第10講	住宅ローン契約書	契約書の逐条理解 金融機関のコンプライアンス
第3講	金融機関への申し込み	仮・正式申し込み 土地申し込み 建物申し込み等	第11講	住宅ローン延滞時の対応	督促、契約条件変更、代位弁済、保険制度等
第4講	金融機関の体制	住宅ローンセンターの実際（センター訪問とレポート提出）	第12講	住宅と税金	住宅資金贈与と税金 住宅取得と税の取り扱い 住宅ローン借入と税金
第5講	住宅取得と人生設計	ライフサイクルと住宅取得	第13講	住宅ローン申し込み	住宅ローン申し込みの実際
第6講	期間と金利選択	ローン利用の期間と金利選択	第14講	契約書類の作成	金銭消費貸借契約書ほか契約書類の作成
第7講	不動産評価	（担保）不動産評価の実際	第15講	定期試験	
第8講	担保と保証	担保と抵当権設定・抹消 保証人と保証契約		評 価 方 法	出席および定期試験の結果等により判定する。
	備 考 (関連する資格・試験等)	進路先として金融機関や住宅会社への就職を希望する学生に適している。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
『住宅ローン相談マニュアル』ビジネス教育出版社			『住宅ローンアドバイザー養成講座 テキスト1 テキスト2』銀行研修社		